

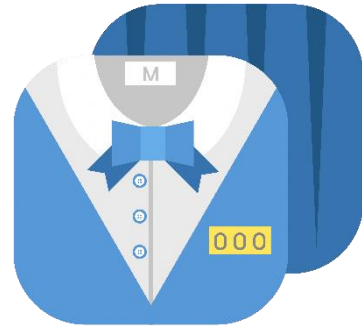
## 韓国人の名前と名付け文化

### ○ 韓国人の名前の成り立ち

韓国人の名前は、大体、「姓(1文字) + 名(2文字)」の3文字です。

名字を含め、2文字か4文字も少なくありません。非常に稀ですが、下の名前だけで4文字以上の場合もあり、最も長い名前はなんと17文字の名前もあるそうです。しかし、1993年から名字を除いて5文字以内に制限があります。

元々、名字にはすべて漢字があり、名前は漢字か固有語(ハングル)を付けますが、証明書を発行する時や要請がある時など特別な場合を除いては、ハングルで書いています。



### ● 韓国人の名前の例 ※実際に書くときは、名字と名前をくっつけて書きます。

「姓(1文字) + 名(2文字)」 이 영수(イ・ヨンス)

「姓(1文字) + 名(1文字)」 현 빈(ヒョン・ビン)

「姓(1文字) + 名(3文字)」 박 새로이(パク・セロイ)

「姓(2文字) + 名(1文字)」 남궁 민(ナムグン・ミン)

「姓(2文字) + 名(2文字)」 황보 슬혜(ファンボ・スレ)

### ○ 韓国人の名字について

伝統的に約280の名字がありますが、国民の約5割が「金(キム)・李(イ)・朴(パク)・崔(チェ)・鄭(チョン)」氏で、特に、金氏だけで全人口の約20%を占めています。日本人の名字に比べると、とても少ないでしょう。

しかし、同じ名字でも「本貫(ポングァン・父系血縁共同体)」によって、厳密に違う名字という認識があります。

例えば、金氏の場合、「金海の金氏」(김해 김씨)、「慶州の金氏」(경주 김씨)のように、それぞれの先祖の出身地名が付く「本貫」を持っており、金氏の「本貫」だけでも約280種類あります。同じ名字の金氏に会った時、どこの金氏ですか？と聞いたりする理由は、このような「本貫」制度があるからです。さらに詳しくは、「本貫→〇〇派→〇代孫」まで紹介することが出来ます。この「本貫」数を基準にして名字を分けると36,744個もあります。

また、過去には、「同姓同本(同じ姓で同じ本館の人)」同士は血縁関係と認められ結婚が禁止でした。お互いの「本貫」を確認せず付き合いはじめた恋人が同じ系統ということに後から気が付き、結局別れるしかなかった…というかなり悲劇的なことも少なくなかったんです。

1997年、法律が改正され8親等内の親戚でなければ結婚が可能となりました！ちなみに、韓国は「夫婦別姓」制を採択しており、漢字がない帰化者の少数の名字まで含めると2015年時点で約5,582名字があるといえます。

## ○ 名前を呼ぶとき

韓国人の呼称は、日本に比べると多少ややこしいです。また、名字だけを呼ぶことは珍しいです。面白い点は、親族の呼称が他人を呼ぶ時も通用するところです。

### ① 初対面の人・公の場・顧客

フルネーム+ニム(様、尊重)、フルネーム+シ(氏、一般的)

例) パク・ソジュン ニム(様)、パク・ソジュン シ(氏)

### ② 役職を持っている人

フルネームか名字に役職をつけて呼びます。この時、役職にも必ずニム(様)を付けます。

例) ペ・ヨンジュン クァジャンニム(課長様)・パンニム(部長様)...

ペ クァジャンニム(課長様)・パンニム(部長様)...

### ③ 同僚・友達・仲良い人

目上・目下により呼び方が変わるため、プライベートで会う時は、初対面の人からも年齢を聞かれることがあります。お互いの文化に興味を持っている日本人と韓国人がカルチャーショックとしてよく口にする場面でもあります。多様な価値観や個性を重要視する最近の社会的雰囲気では控えるようになってきたとはいえ、少しでも親密感がわいたら、呼称を決めるためにでもさりげなく聞かれたり聞きたくなくなってしまうんですよ。

#### ●目上の方が下の人に

ヨンス シ (尊重) ヨンス ヤ、チミン ア (親密感)

#### ●同級生

ヨンス ヤ、チミン ア

※～ヤ・ア：名前を呼ぶとき付く言葉で、意味はありません。

母音で終わる名前には「~ヤ」、子音で終わる名前には「~ア」を付けます。

#### ●年下が年上の人に

親族呼称が発達した韓国語の特徴が垣間見れる点で、家族のように呼び合います。

✓ 男性同士：ヨンジュン ヒョン(兄さん)、ヨンジュン ヒョンニム(兄さま)

- ✓ 女性同士: チウ オンニ(姉さん)
- ✓ 男性が女性に: チウ ヌナ(姉さん)、チウ ヌニム(姉さま)
- ✓ 女性が男性に: ヨンジュン オッパ(兄さん)



※ 市場、気楽に食べられる食堂、飲み屋などでご年配の従業員を呼ぶ時は、イモ～(叔母ちゃん)、サムチョン(叔父ちゃん、若い男性も含め)と呼ぶ人も多いです。

## ○ 名付け文化

生まれる前に名付けるのは珍しく、生まれた日時が運命(四柱)と信じ、名づけ専門の占い師さんに依頼をしたり、家紋のルールに詳しい祖父母にお任せしたりするのが一般的でした。そこで、いくつかの候補が決まったら、家族や知り合いに投票を依頼する若い親たちも多く、私も何回か投票をしたことがあります。

最近では、親が独自に響きが良い名前か漢字がないハングルの名前を付けることが増えています。ハングルの名前は、パク・ダオン(世の中のすべて)、キム・ガラム(川の固有語、漢字語の音読みは「カン」)のようですが、フルネームを漢字で書かないといけない時も、朴다운・金가람のように書きます。

### ※伝統的な名付けルール「行列字(回し字)」について

自分のルーツや家系を大切にする思想から生まれた伝統的な男性の名づけ法で、二文字のうちの一文字を「五行思想」に基づいて、「金水木火土」が部首で使われる漢字の中から意味の良いものを選びます。

その漢字を兄弟や従兄弟など同じ世代で共有するので、名前だけでどの家の何代目かが分かることができます。

例)

- ✓ お祖父さん世代 → 「○載(○ジェ)」
- ✓ お父さん世代 → 「鍾○(ジョン○)」
- ✓ その息子世代 → 「○淳(○スン)」

「鍾○」を使うお父さん世代であれば、兄弟、従兄弟で「鍾旻(ジョンミン)鍾必(ジョンピル)鍾元(ジョンワン)鍾秀(ジョンス)鍾泰(ジョンテ)鍾烈(ジョンヨル)」のように、一文字だけ違う名前を持ちます。

女性もこのルールを適用する家族もありますし、行列字とは別に名前の一文字を兄弟・姉妹が共有する名付け方も多いです。

## ○ 名前のトレンド

2000年代に入っては、男・女に関係なく全体的に優しい響きの名前が多いです。特に、2000年に大ヒットしたドラマ「秋の童話」影響で、主人公の名前だった「ジュンソ(준서)、ウンソ(은서)」を始め、これに似たような名前が人気でした。「やわらかい響き」「優しい」印象ですね。

2020年出生届名前ランキングでもこのような傾向が続いているのが分かります。

男子) トユン(도윤)、ソジュン(서준)、ハジュン(하준)、ウヌ(은우)、シウ(시우)…

女子) ソア(서아)、ハユン(하윤)、チアン(지안)、ソユン(서윤)、ハウン(하은)…

## ○ 改名って簡単にできますか？

自分の名前を「ダサイ」と感じる女性が主人公の大ヒットドラマ「私の名前はキム・サムスン、2005年」をきっかけに改名申請が爆発的に増加しました。改名の審査が厳しかった昔に比べ、審査基準が緩和された2005年以降は約95%の割合で改名ができるそうです。

「これからの人生を新しい名前で頑張りたい」という気持ちで改名する人も増えてきて、私の親族や知人の中にも改名した人が少なくありません。

## ☞ 韓国国際交流員の名前(李英洙・이영수・イ ヨンス)について

「ヨンス」という名前は、韓国では男性の名前のイメージが強く、自分の名前に関する面白いエピソードがたくさんあります。

業務関係のメールのやり取りをしたり、名前だけ伝えて実際に会ったら、9割以上の人に「え～男性だと思いました！」と言われていました。それで、わざわざ「イ・ヨンス(女)」と、求められてもいない性別を丁寧に書くことも少なくありませんでした。(笑)

小学校時代は、「花子と太郎」のように、教科書によく出てくる名前だったので、国語時間に先生に当てられ、「ヨンス」が登場する部分を読んだことも多かったです。

ということで、幼い頃は「男の名前で、教科書にもよく出てくる」自分の名前が大嫌いで、両親にちょっとした反抗をしたり、女の子らしい名前を自分なりに付けてみたりしていたんですね。

また、主要科目の英語(ヨソオ)・数学(スハク)を短くして「ヨンス」ということから、「〇〇ヨンス塾」という看板が全国どこでも見れること、“学生時代、ヨンスは得意だった？”と冗談で聞かれたりしたことも数えられないほど多いです。

そんな私の名前が…大人になってからは、女性の名前としては珍しいこと、何より日本人に呼ばれる際には発音しやすい点から、自分の名前に対する「不満」は一切なくなりました。

ちなみに、両親は、男の名前を娘に付ける意図は全くなかったそうです(笑)。漢字の意味と発音の響きを

大事にし、特に、元大統領(パク・ジョンヒ)の婦人の名前も「陸英修(ユク・ヨンス)」だったため、娘に付けるのに違和感が全くなかったそうです。母方の祖母が「洙」という漢字が好きだったため、夫人とは名前と漢字が違いますが、ハングル表記は同じです。

国際交流員の良いところの一つは、自分の名前を呼ばれたり書いたりする機会が沢山あることではないのかな?と、今更実感しています。自分の名前が嫌だった「幼い頃のヨンス」が想像すらできなかったことですね。(笑)



※学校訪問時は、学校側から名札等をご準備頂くなど、温かく歓迎してくれます。